

## 第3学年社会科学学習指導案

単元名「わたしたちのくらしと商店」

### 1 こんな子どもたちだから

子どもたちは、4月からの社会科の学習で、自分の校区の様子や福岡市の様子について学習してきた。そこで、自分の視点を持ち、それぞれの場所の様子について、意欲的に調べる姿が見られた。本単元においては、販売活動に携わる人々の工夫や努力を調べることを通して、自分の生活が支えられていることを理解することを期待したい。

子どもたちはこれまで、自分の校区についてどのような様子なのかを調べるために校区探検を行い、調べてきたことを校区地図にまとめてきている。また、福岡市について、特色ある場所をそれぞれの視点を元に調べることを通して、校区と福岡市とを比較し、自分の考えをつくってきている。

### 2 こんな教材で

本単元では、個人商店、スーパーマーケット、大きなスーパーを教材化する。これらの事例を教材化することは、「事実を整理する図」をどのように活用すべきかというテーマを検証する上で次のような価値があると考えられる。

上記の三店舗は客のニーズに応えるために、数多くの販売に関する工夫を行っている。子ども達は調べ学習を通して数多くの事実を得ることができるであろう。しかし、子どもたちが得た数多くの事実の中には、学習問題とのつながりが見い出せなかったり、もれや重複があったりすることが考えられる。そこで、図を使って視点ごとに事実を整理していく。

また、視点ごとに事実を図に整理することで、販売の工夫に関する事実同士のつながりに気付くことが期待できる。

### 3 こんな支援で

#### (つかむ段階)

- なぜ、お家の人が地域の様々な店に買い物に行っているかについて追究の視点をもたせるために、予想について話し合い、どのようなことを調べたらよいかを図に整理する。

#### (さぐる段階)

- 個人商店、スーパーマーケット、大きなスーパーの特色を追究させるために、それぞれの店に見学に行き、調べたことをカードに書かせる。
- 子どもたちが得た事実を整理していくために、カードに書いた事実を図に視点ごとにまとめさせ、その図をもとに学習問題とのつながりを吟味しながら全体で話し合う。

#### (まとめる段階)

- 学習問題の答えを明らかにするために、図を使ってこれまでに学習した各店の特色について話し合う。

### 4 こんな子どもの姿に

地域の商店で働く人々の姿を通して、そこで働く人々の様子について関心を持ち、地域の一員としての自覚をもつことができる。

個人商店・スーパー・大きなスーパーの販売の様子を比較しながら考えをもち、そこで働く人々や友達の考えのよさを受け入れながら自分の考えを見直し、これからの自分の行いについて考えることができる。

個人商店・スーパー・大きなスーパーの様子を資料、インタビュー、見学調査することを通して、自分の考えを表現物にまとめ、話し合うことができる。

個人商店・スーパー・大きなスーパーで働く人々の工夫や努力について理解することができる。

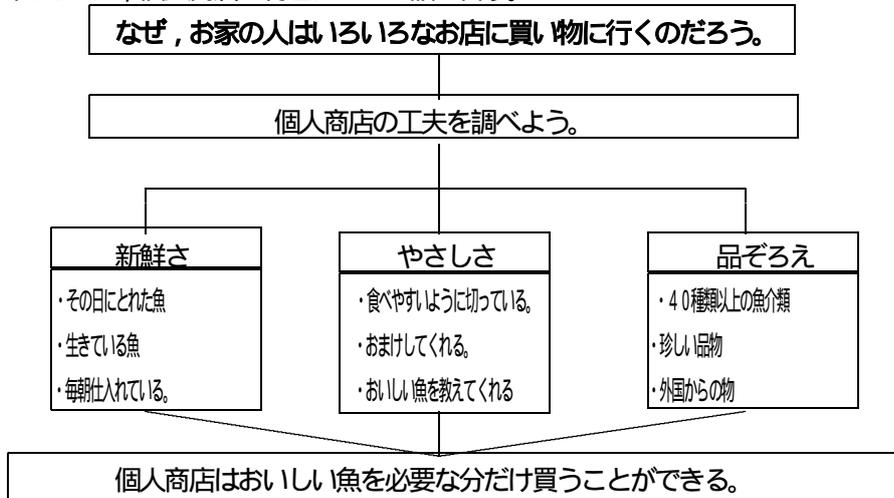
5 指導計画(20時間)

	学 習 活 動 と 内 容	教師の支援	時 間						
	<p>1 お家の人の買い物調査を行い、家の人の買い物の特色について話し合う。</p> <p>(1) 買い物調査の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に行く場所 ・何を買うか</li> <li>・その場所に買いに行くわけ</li> </ul> <p>(2) アンケート結果から、家の人によって買い方や買う店が違うことについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">食料品や日用品が多い。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人商店</li> <li>・スーパーマーケット</li> <li>・大きなスーパーマーケット</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">⇩</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">お家の人は、食料品や日用品を近くのいろいろなお店で買っている。</div>	<p>一週間の買い物調査を行うために保護者にも協力を促す。</p> <p>クラス全体の結果がわかるように、買い物に行った店を地図で表したり、店ごとの人数をグラフ化したりする。</p>	2						
つ か む  /  /	<p>2 近所の店を調べる計画を立てる。</p> <p>(1) 買い物調査の結果から、近所の店を調べるための学習問題をつくる。</p> <p><b>学習問題</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なぜ、お家の人はいろいろなお店に買い物に行くのだろう。</div> <p>(2) 調べる計画を立てる。 (考えられる子どもの予想)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">せんしょう(個人商店)</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">スーパー</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">大きなスーパー</td> </tr> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしいから</li> <li>・安くしてくれる</li> <li>・珍しい物がある</li> <li>・新鮮だから</li> </ul> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何でもそろそろ</li> <li>・割引があるから</li> <li>・チラシの情報</li> <li>・タイムサービス</li> </ul> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいから</li> <li>・食事もできて便利</li> <li>・駐車場が広い</li> <li>・ブランド食品</li> </ul> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">⇩      ⇩      ⇩</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">それぞれのお店の工夫を調べよう。</div>	せんしょう(個人商店)	スーパー	大きなスーパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしいから</li> <li>・安くしてくれる</li> <li>・珍しい物がある</li> <li>・新鮮だから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何でもそろそろ</li> <li>・割引があるから</li> <li>・チラシの情報</li> <li>・タイムサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいから</li> <li>・食事もできて便利</li> <li>・駐車場が広い</li> <li>・ブランド食品</li> </ul>	<p>お家の人が地域の様々な店に買い物に行っていることに疑問をもたせるために、買い物調査の結果から、お家の人がその店で買い物をする理由から学習問題につなげられるようにする。</p>	2
せんしょう(個人商店)	スーパー	大きなスーパー							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしいから</li> <li>・安くしてくれる</li> <li>・珍しい物がある</li> <li>・新鮮だから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何でもそろそろ</li> <li>・割引があるから</li> <li>・チラシの情報</li> <li>・タイムサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいから</li> <li>・食事もできて便利</li> <li>・駐車場が広い</li> <li>・ブランド食品</li> </ul>							
	<p>3 個人商店の特色について調べる。</p> <p>(1) 個人商店に見学に行き、個人商店の特色を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんとのやりとり ・品物がどのくらい新鮮か</li> <li>・魚はどのくらい売っているか</li> </ul> <p>(2) 調べた事実を図に整理する。</p> <p style="padding-left: 20px;">集めた事実をカードに書き、自分なりに図にまとめていく。</p> <p>(3) 事実を整理した図をもとに中間交流を行う。</p>	<p>調べることが明確になるように見学プリントに追究する視点を明記しておく。</p>	5						

さ  
ぐ  
る

「学習問題との整合性はどうか」、「事実の漏れや重なりはないか」などを少数グループで話し合う。

(4) 図をもとに、個人商店の特色について話し合う。



4 スーパーマーケットA店について調べる。

(1) スーパーマーケットA店に見学に行き、スーパーマーケットの特色を調べる。

- ・品物は安いのか ・どんな商品が売ってあるのか。
- ・サービスはどんなものか。 ・商品は安心できるものか。

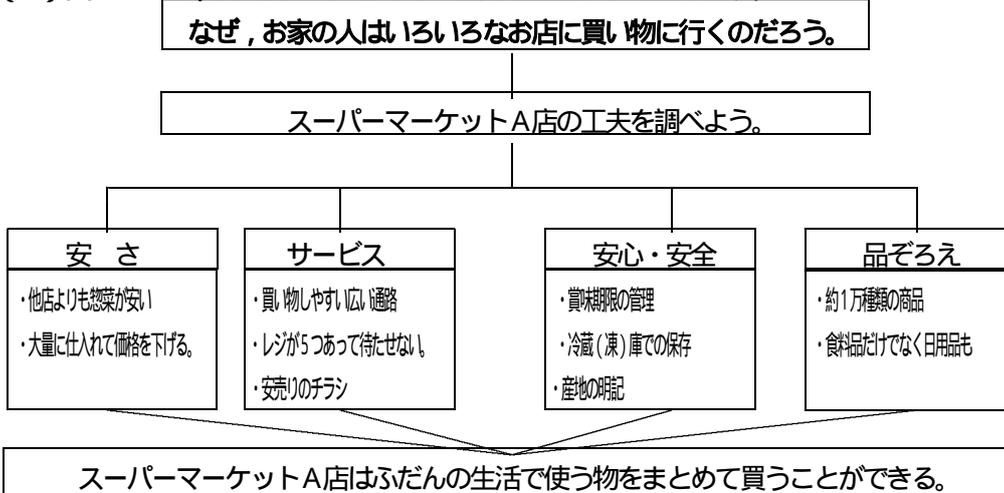
(2) 調べた事実を図に整理する。

集めた事実をカードに書き、自分なりに図にまとめていく。

(3) 事実を整理した図をもとに中間交流を行う。

「学習問題との整合性はどうか」、「事実の漏れや重なりはないか」などを少数グループで話し合う。

(4) 図をもとに、スーパーマーケットA店の特色について話し合う。



調べる事が明確になるように見学プリントに追究する視点を明記しておく。

5

本  
時

5 大きなスーパーについて調べる。

(1) 大きなスーパーB店に見学に行き、大きなスーパーマーケットの特色を調べる。

- ・専門店がどのくらいあるか。 ・どんな品物があるか。
- ・駐車場の広さはどのくらいか。 ・レストランは何軒か。

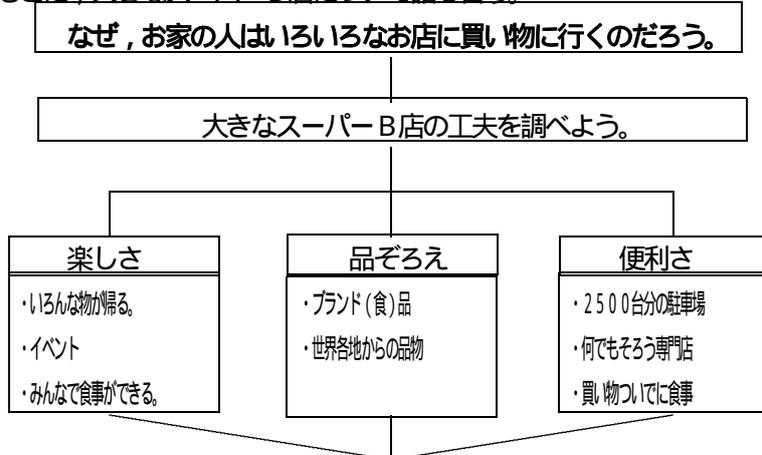
(2) 調べた事実を図に整理する。

集めた事実をカードに書き、自分なりに図にまとめていく。

(3) 事実を整理した図をもとに中間交流を行う。

「学習問題との整合性はどうか」、「事実の漏れや重なりはないか」などを少数グループで話し合う。

(4) 図をもとに、大きなスーパーB店について話し合う。



大きなスーパーB店は買い物するだけでなく食事でもでき一日いてもあきない楽しさがある。

調べることが明確になるように見学プリントに追究する視点を明記しておく。

ま  
と  
め  
る

6 これまで調べてきたことをもとに、お家の人がいろいろなお店に買い物に行く理由について話し合う。

これまでの学習で、作成した図を使って、各店の特色について比較していく。

これまでの学習で、僕たちの家の近くにあるお店は、お客さんのために数多くの工夫をしていることがわかりました。ふだんの生活に必要な物はスーパーマーケットに行けばそろえることができます。でも、買い忘れがあったり、何か特別な物がほしいときには個人商店に行けばお店の人がおすすめの物を必要な分だけ売ってくれます。また、忙しくて休みの日にしか買い物に行けない場合は、大きなスーパーに車で行ってまとめ買いすることができます。そこには飲食店もたくさんあり、家族全員で時間をかけて買い物ができます。お家の人は、買い物に行く時間や必要な物が何かなどを考えてこれらのお店を使い分けていることがわかりました。

これまでの「事実を整理する図」を教室に掲示しておく。

# 第3学年本時指導案

社会科研究室

1 本時 「事実を整理する図を使った全体交流」(14/20)

2 本時の目標

スーパーマーケットA店の販売の工夫について、「安さ」「サービス」「品揃え」「安心・安全」の4つの視点から図を使って事実をもとに話し合い、〇〇〇〇町店の販売の工夫を理解することができる。

3 本時指導の考え方

児童は前時までに、見学などを通して、スーパーマーケットA店の特色について「安さ」「サービス」「品揃え」「安心・安全」の4つの視点から調べてきている。また、自分の得た事実を図に整理し、事実と学習問題とのつながりについて少人数のグループで検討し合っている。

本時は、代表児童の図をもとに、付加・修正を行いながら、これまで得た事実と学習問題とがどのようにつながるかを全体で話し合う。そのために、特に次のような手だてをとっていく。

図を活用し、事実と学習問題とのつながりを吟味する交流活動の工夫

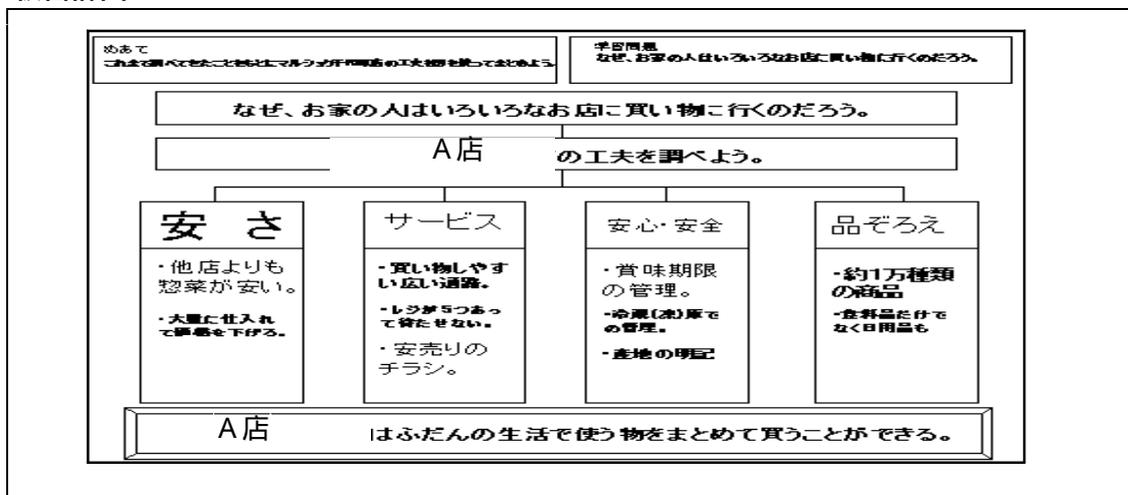
まず、代表児童の図と自分の図とを比較させながら付け加える事実がないかについて話し合う。

次に、「安さ」「サービス」「品揃え」「安心・安全」の4つの視点について調べたそれぞれの事実について、「なぜ、学習問題とつながるのか。」や「なぜ、その視点だと考えたのか」といった発問を行い、一つ一つの事実について吟味していく。

交流の終盤に、教師が提示した資料をもとにスーパーマーケットA店の販売の工夫について考える。その際、図に示された視点で資料を見ることができるよう、「どの視点に入る物か」と発問しておく。

最後に、授業前までの自分の図と、本時で完成した図とを比較させながら、スーパーマーケットA店の販売の工夫についての自分の考えを書かせる。

## 板書計画



#### 4 本時の展開

主な学習活動と内容	テーマ・主張点とのかかわり
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>これまで調べてきたことをもとに，図を使ってスーパーマーケットA店の工夫をまとめよう。</p> </div> <p>2. 代表児の図をもとに，スーパーマーケットA店の工夫について話し合う。</p> <p>(例) 代表児童の図</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> <p>なぜ，お家の人はいろいろなお店に買い物に行くのだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> <p>スーパーマーケットA店の工夫を調べよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>安心・安全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心マーク</li> <li>・魚や肉が国産</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>安さ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュースが60円</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店内のかざり</li> <li>・通路が広い</li> <li>・おすすめの商品を知らせるマーク</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>品ぞろえ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約1万種類の商品</li> <li>・種類によって分けられている。</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">視点ごとに調べているが事実の数が不十分。 どの視点に入れてよいかわからない事実がある。 質問や付け加えを行う。</p> <p style="text-align: center;">視点ごとに整理できなかった事実のまとめ方を話し合う。</p> </div> <p>3. 新たな資料からスーパーマーケットA店の工夫について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">牛乳売り場の写真</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・安い牛乳(安さ)    ・賞味期限(安心・安全)</p> <p>・きれいに並べている。(サービス)</p> <p>・豊富な種類(品ぞろえ)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">全ての面で販売の工夫が見られる。</p> </div> <p>4. 「今日の学習で」を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>スーパーマーケットA店では，安売りをしたり，品物をお客さんが取りやすいように並べていたりしている。売っている品物は新しく安心してできるし，種類も多いから，ふだんの生活に使う物がここでまとめて買えるね。</p> </div>	<p>調べた事実と学習問題とのつながりを意識しながら発表できるようにするために，見学の時の様子の写真を掲示したり，子どもが調べた事実に関わる写真を準備したりしておく。</p> <p>調べた事実と学習問題とのつながりを見い出せるようにするために，「なぜ，学習問題とつながるのか。」や「なぜ，その視点だと考えたのか」といった発問を行い，一つ一つの事実を吟味しながら，教師が板書で整理していく。</p> <p>これまでに追究してきた視点で資料を読み取ることができるようするために，「この資料がどの視点に入るか」という観点を与える。</p> <p>「今日の学習で」に，学習問題に対する事実に基づいた自分の考えを書けるようにするために，自分の図と板書の図を比較させながら，自分の考えの変容を書かせる。</p>